

警察庁 予算監視・効率化チームの
上半期(4～9月)活動状況について

平成22年11月16日

警察庁

(1) チームリーダーによる上期取組み総評

- ・ 警察庁においては、不断に競争性を高める等の工夫を行い、効率的な予算執行と予算への反映に努める必要があると認識。
- ・ 行政事業レビューにおいては、一部事業の廃止も含め、厳しい検討を行ったとの報告を受けており、チームの取組みは、納税者の視点に立った予算編成を行い予算の効率性を高めていくために大変重要。
- ・ チーム会合の結果を踏まえ、下半期も引き続き効率的な予算執行に努めるよう指導してまいる所存。

(2) 外部有識者による上期取組みコメント

- ・ 情報開示する場合には、過去3年の支出状況が分かるデータを併せて開示すべき。(赤坂委員)
- ・ 庁費や旅費については、四半期ごとの点検のみならず、常日頃から適切に執行すべき。(松村委員)
- ・ 行政事業レビューの資料、実施方法については、今回の実施状況を踏まえ、更に改善すべき。(竹谷委員、松村委員、水谷委員)
- ・ 予算の無駄を一掃することに留意して、今後もシビアに予算を組むべき。(赤坂委員)
- ・ 予定価格については市場価格を調査し、適正な価格を定めるべき。(竹谷委員)
- ・ 予算の執行状況の把握の方法として、支出額だけでは契約しても支出があるまで計上されないため、契約額についても参考とすべき。(水谷委員)

(3) 予算監視・効率化の推進体制

チームリーダー：国家公安委員会委員長

チーム事務局長：官房長

チーム事務局長代理：総括審議官

チーム副事務局長：総務課長、人事課長、会計課長

チームメンバー：長官官房参事官(企画)、生活安全企画課長、刑事企画課長、企画分析課長、交通企画課長、警備企画課長、外事課長、情報通信企画課長、警察大学校教務部長、科学警察研究所総務部長、皇宮警察本部副本部長

外部有識者：赤坂裕彦(赤坂法律事務所 弁護士)、竹谷智行(竹谷法律事務所 弁護士)、松村敏弘(東京大学社会科学研究所教授)、水谷章(監査法人不二会計事務所 公認会計士・税理士)

(4) 平成22年度予算執行計画の公表日と掲載場所

公表日：平成22年4月15日(木)

公表されているホームページアドレス：

http://www.npa.go.jp/yosan/kaikei/yosankanshi_kourituka/22shikkoukeikaku.pdf

(5) 予算監視・効率化チーム定例会合の開催状況

第1回 平成22年4月8日(木)

- 警察庁予算監視・効率化チームについて
- 平成22年度警察庁予算執行計画案について
- 平成22年度警察庁行政事業レビュー行動計画案について

第3回 平成22年7月27日(火)

- 平成22年度第1四半期における予算監視・効率化の取組状況について
- 行政事業レビューに関する意見の募集の結果について
- 行政事業レビューシートに係るチームの所見について
- 重要調達案件の事前審査のフォローアップについて

第2回 平成22年6月4日(金)

- 重要調達案件の事前審査の実施
- 行政事業レビューの実施

(6) 支出負担行為又は支出に関する計画の進捗管理

(i) 計画立案対象経費

警察庁共通費、警察庁施設費、生活安全警察費、刑事警察費、組織犯罪対策費、交通警察費、警備警察費、皇宮警察本部、船舶建造費、犯罪被害給付費、情報技術犯罪対策費、科学警察研究所、警察活動基盤整備費
なお、庁費、旅費(職員旅費、外国旅費及び活動旅費)及び補助金(都道府県警察費補助金、都道府県警察施設整備費補助金及び千葉県警察成田国際空港警備隊費補助金)については、予算の使い切りを目的とした不要不急の執行の防止、予算の計画的な早期執行等の観点から、特に重点的に予算執行の効率化等を図る経費として進捗管理を実施。

(ii) 進捗管理の上期実施状況

第1四半期における経費の支出の進捗管理を、第3回チーム会合で実施した。また、第2四半期における進捗管理は、第4回チーム会合で実施した(別添資料参照)。

(iii) 開示の対応状況

第1四半期における進捗管理状況:平成22年8月5日公表

第2四半期における進捗管理状況:平成22年11月1日公表

(7) 予算執行上の重要な決定等についての事前審査

(i) 事前審査対象の範囲

予算額1億円以上の事業のうちチームが選定した案件

(ii) 事前審査の上期取組み(実施件数を含む)・状況コメント

平成22年度に実施する1億円以上の調達案件のうち、チームが重要と認めた5件の案件について、第2回チーム会合において事前審査を実施し、第3回チーム会合においてフォローアップを実施した。

(8) 国民の声の受付・対応

(i) 受付体制の整備状況

警察庁ウェブサイト上に専用の窓口を設置した。

http://www.npa.go.jp/yosan/kaikei/yosankanshi_kourituka/yosankoe.htm

また、平成22年6月17日から7月16日までの間、行政事業レビューに対する意見募集を実施した。

(ii) 上期受付状況(件数、及び主な内容)

上期には国民の声受付窓口寄せられた意見等はなかった。

また、行政事業レビューの意見受付窓口へ5件の意見等が寄せられたが、予算監視・効率化に関する内容のものはなかった。

(iii) 開示の対応状況

行政事業レビューの意見受付窓口寄せられた意見等については、第3回チーム会合に報告した上で、平成22年8月5日、その結果を警察庁ウェブサイト上に公表した。

(9) 予算執行の効率化等に向けた職員参画向上等の取組み

平成22年5月6日に、職員から予算執行の効率化等に関する提案及び行政事業レビューに関する提案を受け付ける体制を整備した。第4回チーム会合において提案に対する対応を報告し、平成22年11月1日に警察庁ウェブサイト上に公表した。

また、各種会議や教養の機会に予算執行の効率化等の重要性や行政事業レビューの意義等について指示している。

(10) 予算要求への反映

(i) 行政事業レビューを踏まえた反映

反映事業数:22、反映額:33億4,300万円

http://www.npa.go.jp/yosan/kaikei/yosankanshi_kourituka/rebyu_haneijyoukyou.pdf

(ii) 概算要求組替え基準を踏まえた反映

庁費等の見直しによる反映額:7億円

(11) 「予算執行の情報開示充実に関する指針」に基づく開示状況

指針事項	開示の対応状況
1. 予算執行情報開示に関する一元的なアクセスポイントの創設	http://www.npa.go.jp/yosan/kaikei/yosankanshi_kourituka/team_index.htm
2. 予算執行状況の継続的な開示	第1四半期における予算執行状況を平成22年8月5日、第2四半期における予算執行状況を平成22年11月1日に警察庁ウェブサイト上に公表した。
3. 予算執行に関する意思決定の情報開示	(1) 公共調達に関する情報開示 (2) 公共事業等に関する情報開示 (3) 補助金に関する情報開示 いずれも第1四半期における予算執行状況を平成22年8月5日、第2四半期における予算執行状況を平成22年11月1日に警察庁ウェブサイト上に公表した。
4. 予算の支出目的に着目した情報開示	(1) 委託調査費 (2) タクシー代 いずれも第1四半期における予算執行状況を平成22年8月5日、第2四半期における予算執行状況を平成22年11月1日に警察庁ウェブサイト上に公表した。

(12) その他の取組み

都道府県警察において使用する国費物品を警察庁において一括調達するなど、調達方法の見直し等を実施している。また、競争性の高い契約方式への移行を進めるとともに、いわゆる1者応札・1者応募の改善に努めている。

(13) 予算執行計画を含む、予算監視・効率化の取組み全体の自己評価

(i) 予算監視・効率化の取組み全体の自己評価

○第1四半期における自己評価: チーム会合の結果を踏まえ、第2四半期以降における効率的な予算執行に努めるとともに、行政事業レビューによる点検結果を平成23年度概算要求へ反映させる。

○第2四半期における自己評価: 支出に関する計画の進捗よく把握・管理等、「行政事業レビュー」の実施、職員の参画や意識の向上を図る取組み、予算執行の情報開示等、平成22年度警察庁予算執行計画において取り組むべきとされている事項を着実に実施してきたところであるが、本日のチーム会合の結果も踏まえ、第3四半期以降も引き続き、予算執行の効率性の向上等に努める。

(ii) 開示の対応状況

第1四半期における自己評価: 平成22年8月5日公表

第2四半期における自己評価: 平成22年11月1日公表